

令和元年6月3日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2018

課題番号：26284111

研究課題名(和文) 植民地史を書き換える - 東南アジアの日本占領行政からみた欧米植民地支配

研究課題名(英文) Rewriting Colonial History: Western Colonial Rule from the Viewpoints of Japanese Occupied Administration in Southeast Asia

研究代表者

早瀬 晋三 (HAYASE, Shinzo)

早稲田大学・国際学院(アジア太平洋研究科)・教授

研究者番号：20183915

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、日本軍が東南アジアを占領するにあたって、どこまで欧米の植民地支配の実態を知って占領地行政に臨んだのか、具体的な事例から欧米の植民地支配の実態を明らかにすることであった。そのため、基礎資料の発掘とその資料を整理した資料集の発行をおこなった。まず、『朝日新聞大阪本社所蔵「富士倉庫資料」(写真)東南アジア関係一覧』、『南洋協会発行雑誌 解説・総目録・索引』を出版した。つぎに、『ジャワ新聞』、『ボルネオ新聞』復刻版を発行した。また、インドネシアの教育文化省文化総局歴史課の要請で、日本軍政期関連の日本語資料の書誌情報と要約をインドネシア語で刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本占領期の東南アジアについては、1980年代にトヨタ財団の研究助成による「東南アジア日本占領期史料フォーラム」が各国・地域ごとに組織され、飛躍的な発展を遂げた。その後、参加者それぞれが個別に研究を深めたり、共同研究プロジェクトを立ち上げて現地の研究者とともに議論を深めたりしてきた。だが、東南アジア現地で発行された新聞などの出版物は充分利用されてきたとはいえ、新たに発見された資料についても整理されていないために利用しにくかった。本研究では、復刻版の出版、目録などの研究工具の作成、新たな資料の発掘など、研究整備に力を注いだ。これらの利用によって、この分野の研究が発展することが期待できる。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to clarify the actual conditions of colonial rule by European countries and the United States from the perspectives of Japanese occupied military administration in Southeast Asia. We conducted the excavation of basic materials and the publication of a collection of materials. We published as follows in Japanese: The List of Photos on Southeast Asia Possessed by Asahi Shimbun. Waseda University Institute of Asia-Pacific Studies, 2017; Edited and Reprinted South Development Bank, 1942-44. Ryukei Shosha, 2012-15, 17 volumes; Edited and Reprinted South Development Bank, 1942-44, Supplement Volume: Annotation, Table of Contents and Indices. Ryukei Shosha, 2015; Annotation, Table of Contents and Indices) of Journals of Nan'yo Kyokai. Ryukei Shosha, 2018, 2 volumes; Reprinted Borneo Newspaper. Ryukei Shosha, 2018-19, 13 volumes; Reprinted Jawa Newspaper. Ryukei Shosha, 2013-17, 8 volumes.

研究分野：東南アジア史

キーワード：東南アジア史 植民地史 アジア太平洋戦争 写真資料 在留邦人 グラフ誌 メディア 日本史

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

東南アジアの日本占領期研究は、おもに植民地宗主国、日本、植民支配下・占領下の東南アジアの3つの視点から研究がおこなわれてきた。だが、日本占領下で出版された新聞(日本語、英語、中国語、マレー語など現地語)などは、十分に利用されず、欧米、東南アジアの研究者はその存在さえ知らないものがある。まずは、日本人研究者がこれらの資料を使って、どのような研究が出来るのかを示す必要がある。そうすることによって、欧米、東南アジア研究者との対話がはじまり、日本語資料などの重要性が認識されるようになって、3つの視点から総合的に日本占領期を理解できるようになることが期待される。このことは、占領期以前の植民地支配、戦後の独立運動の理解にもつながり、東南アジア史の書き換えにも通じる。

2. 研究の目的

本研究の目的は、まず日本軍が東南アジアを占領するにあたって、どこまで欧米の植民地支配の実態を知って占領地行政に臨んだのか、占領後実際にどのような問題に遭遇し、どのように対処したのか、具体的な事例から欧米の植民地支配の実態を明らかにすることである。そのため、基礎資料の発掘とその資料を整理した資料集の発行をおこなう。

3. 研究の方法

(1) 日本占領期に東南アジア占領地で出版された新聞などを、網羅的に出版期間、現在の所蔵状況などを把握したうえで、重要なものから解説を付して復刻版を出版する。

(2) 日本で発行された雑誌、日本で所蔵されているコレクションなどの目録、解題を作成し、内外で利用しやすくする。

(3) 新たに資料を発掘し、整理して、利用しやすいようにする。

4. 研究成果

「研究の方法」(1)については、分担者のひとり後藤乾一が解題を付して『ジャワ新聞』復刻版を発行し、『ポルネオ新聞』については復刻版を発行し、まもなく代表者の早瀬晋三編で、解題、総目録、索引を含む附巻が発行される。また、早瀬は、南方開発金庫資料を収集して復刻し、附巻を発行した。

(2)については、一般に提供した民間の組織として、1915年に創立された南洋協会があり、その機関誌は情報の宝庫であり、早瀬編で索引などを作成して研究工具として発行した。分担者のひとり、倉沢愛子はインドネシアの教育文化省文化総局歴史課の要請で、日本軍政期関連の日本語資料をリストアップし、その所在その他の書誌情報と要約をインドネシア語でまとめて刊行した。収録資料数は521点で、268頁にのぼった。

(3)については、早瀬が2015年2月に朝日新聞大阪本社で新たに「発見」したものを加え、『朝日新聞大阪本社所蔵「富士倉庫資料」(写真)東南アジア関係一覧』としてまとめて出版した。富士倉庫資料(写真)には東南アジア関係の写真約5000枚が含まれ、それぞれの写真の裏書きから撮影者や配信先など具体的な状況がわかる。これらの文字情報を入力した。

また、愛媛県歴史文化博物館所蔵の松井家文書は、戦前にフィリピン各地に支店網をもった大阪バザーの創業家のもので、新たに1930年代に撮影されたフィルム約50本(約220分)が見つかり、DVD化して関連文書とあわせて分析している。フィルムの発見は、2018年10月17日「朝日新聞」で大きく報道され、その一部は朝日デジタルで観ることができる。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 10 件)

早瀬晋三 “The Yasukuni Shrine Controversy from the Perspective of Southeast Asia: A Hidden Dispute” 『アジア太平洋討究』第36号(2019年3月) pp. 109-129. 査読無

後藤乾一 「明治期小笠原諸島の産業開発と鍋島喜八郎」 『アジア太平洋討究』第36号(2019年3月) pp. 57-89. 査読無

後藤乾一 「勢理客文吉 = イスマイル・B・セリヤクの歷程 沖縄・硫黄島・インドネシア」 『沖縄文化研究』46号(2019年3月) pp. 1-88. 査読有

早瀬晋三 “Manila Hemp in World, Regional, National, and Local History” 『アジア太平洋討究』第31号(2018年3月) pp. 171-188. 査読無

倉沢愛子 「「大東亜」戦争期東南アジアの物流の破綻」 『現代思想 特集 物流スタディーズ』青土社(2018年3月) pp. 136-148. 査読無

後藤乾一 「ジョン万次郎・平野廉蔵と小笠原諸島 幕末維新期の洋式捕鯨をめぐる一考察」

『アジア太平洋討究』第29号(2017年10月) pp. 1-21. 査読無

倉沢愛子「九・三〇事件とインドネシアの華僑・華人社会 レスプブリカ大学襲撃事件から見えること」『アジア・アフリカ言語文化研究』91号(2017年4月) pp. 25-64. 査読有

早瀬晋三「日本占領・勢力下の東南アジアで発行された新聞」『アジア太平洋討究』第27号(2016年10月) pp. 61-100. 査読無

早瀬晋三「ラブアン - すれ違うメモリアル」『アジア太平洋討究』第27号(2016年10月) pp. 101-116. 査読無

早瀬晋三「『マニラ・タイムズ』紙が伝えたインドネシアの政変(1965-66年) - 地域としての東南アジアへの影響」『アジア太平洋討究』第26号(2016年3月) pp. 37-52. 査読無

〔学会発表〕(計 8 件)

- 倉沢愛子 "Apakah Aku *onderdaan* Belanda?: Nasib dan politisasi mahasiswa Indonesia di Jepang pasca kekalahan Jepang tahun 1945" at International Seminar on Indonesia-Jana History: Connection and Comparison, 2018年8月7日、招待講演 at Makassar, Indonesia
- 倉沢愛子 "Hubungan Indonesia-Jepang pada tahun 1945-1957" at seminar on Hubungan Indonesia Jepang dalam Alam Kemerdekaan dan Persahabatan (1945-2018)、2018年8月2日、招待講演 at Perpustakaan Nasionla Indonesia in Jakarta, Indonesia
- 早瀬晋三 "The Yasukuni Shrine Controversy in the Perspective of Southeast Asia: A Hidden "Dispute"," SEASIA 2017 Conference, Unity in Diversity: Transgressive Southeast Asia, 16-17 December 2017, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand.
- 早瀬晋三 ""The Greater East Asia Co-Prosperity Sphere" Depicted in Secretly Kept Photos of the *Asahi* Newspaper," International Conference on the 75th Anniversary of World War II in the Philippines, 17-19 August 2017, Holy Angel University, Angeles City, Philippines.
- 倉沢愛子 "Bahan-bahan Sejarah Pendudukan Jepang di Indonesia yang ada di Jepang" at Dirjen Kebudayaan, Kementerian Pendidikan 2017年7月25日、招待講演 教育文化省文化総局、インドネシア
- 倉沢愛子 "Japanese Occupation In Indonesia(1942-1945)" Seminar at 厦門大学、2017年6月8日、招待講演 厦門大学国際関係学院南洋研究院主催のセミナー「印尼研究問題与方法」にて
- 早瀬晋三「朝日新聞秘蔵写真が語る「大東亜共栄圏」」組織者、東南アジア学会第95回研究大会、大阪大学豊中キャンパス、2016年6月5日
- 早瀬晋三 ""The Greater East Asia Co-Prosperity Sphere" Depicted in Secretly Kept Photos of the *Asahi* Newspaper," An International Conference on the Pacific War in the Philippines: Occupation & Liberation, 3-5 September 2015, GT Toyota Asian Cultural Center, University of the Philippines Diliman, Quezon City, Metro Manila.

〔図書〕(計 22 件)

早瀬晋三「東南アジアへの移民 - 日本優位から対等な関係へ」日本移民学会編『日本人と海外移住 - 移民の歴史・現状・展望』(明石書店、2018年)302頁。

早瀬晋三「東南アジアからみた靖国神社 - 表面化させない「紛争」」橋本伸也編『紛争化させられる過去 - アジアとヨーロッパにおける歴史の政治化 - 』(岩波書店、2018年)318頁。

- 早瀬晋三『グローバル化する靖国問題 - 東南アジアからの問い』（岩波現代全書、2018年）224+22頁。
- 早瀬晋三編『南洋協会発行雑誌（『会報』・『南洋協会々報』・『南洋協会雑誌』・『南洋』1915～44年）解説・総目録・索引（執筆者・人名・地名・事項）』（龍溪書舎、2018年）全2巻。
- 倉沢愛子 *Sumber Sejarah: Masa Pendudukan Jepang di Indonesia*, Direktorat Sejarah, Direktorat Jenderal Kebudayaan, Kementerian Pendidikan dan Kebudayaan, 2018, 268 p. (co-author with Nanke Mitsuko)
- 早瀬晋三・白石昌也編『朝日新聞大阪本社所蔵 「富士倉庫資料」（写真）東南アジア関係一覧』（早稲田大学アジア太平洋研究センター、2017年）422頁。
- 倉沢愛子『日本帝国の崩壊 人の移動と地域社会の変動』（柳沢遊と共編）（慶應義塾大学出版会、2017年）474頁。
- 後藤乾一「「ジャワ新聞」解題」『ジャワ新聞第8巻下』龍溪書舎、2017年、289頁。
- 倉沢愛子 *September 30 Incident: Japanese Perception and Response*, Jakarta: Kompas 2016, 174 p.
- 倉沢愛子 *G30S dan Asia :Dalam Bayang-Bayang Perang Dingin*, Kompas, 2016, 308 p. (co-edited with Matusmura Toshio ed.)
- 早瀬晋三 "Pemberitaan The Manila Times dan G30S," Kurasawa Aiko dan Matsumura Toshio, eds., *G30S dan Asia: Dalam Bayang-bayang Perang Dingin*, Jakarta: Penerbit Buku Kompas, Marét 2016, 308 p.
- 倉沢愛子 *Masyarakat & Perang Asia Timur Raya: Sejarah dengan Foto yang tak terceritakan*, Jakarta: Komunitas Bambu, 2016, 274 p.
- 早瀬晋三編『編集復刻版 南方開発金庫調査資料（一九四二～四四年）附巻 解説、総目次、索引篇』（龍溪書舎、2015年）197頁。
- 早瀬晋三編『編集復刻版 南方開発金庫調査資料（一九四二～四四年）』（龍溪書舎）第1-4巻（2012年）；第5-10巻（2013年）；第11-17巻（2015年）。
- 倉沢愛子 *Kuasa Jepang di Jawa: Perubahan Sosial di Pedesaan 1942-1945*, Jakarta: Komunitas Bambu Jan. 2015, 617 p.
- 倉沢愛子 *Consuming Indonesia: Consumption in Indonesia in the Early 21st Century*, Jakarta: Gramedia Sep. 2015, 235 p. (Co-edited by William Bradley Horton)
- 倉沢愛子 *Peristiwa 1965: Persepsi dan Sikap Jepang*, Jakarta: Kompas Sep. 2015, 202 p.
- 後藤乾一『近代日本の「南進」と沖縄』（岩波現代全書、2015年）269+9頁。
- 後藤乾一"Japanese Occupation of Southeast Asia, 1941-1945"(Paul H.Kratoska との共著)Richard J. B. Bosworth et.al. eds., *The Cambridge History of The Second World War*, Cambridge University Press, 2015, 3 volumes
- 早瀬晋三 *Japanese in Modern Philippine History*. Waseda University Institute of Asia-Pacific Studies, Research Series No. 5 (2014), 249 p.
- 21 倉沢愛子『9・30 世界を震撼させた日 インドネシア政変の真相と波紋』（岩波現代全書、2014年）256頁。
- 22 早瀬晋三「東南アジアにおける第一次世界大戦 - 『南洋日日新聞』からみた大戦の影響」『第一次世界大戦1 世界戦争』（岩波書店、2014年）256頁。

〔産業財産権〕
出願状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年：
国内外の別：

取得状況（計 0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：倉沢愛子
ローマ字氏名：KURASAWA Aiko
所属研究機関名：慶應義塾大学
部局名：経済学部（三田）
職名：名誉教授
研究者番号（8桁）：00203274

研究分担者氏名：後藤乾一
ローマ字氏名：GOTO Ken'ichi
所属研究機関名：早稲田大学
部局名：アジア太平洋研究科
職名：名誉教授
研究者番号（8桁）：90063750

(2)研究協力者

研究協力者氏名：加納寛
ローマ字氏名：KANO Hiroshi

研究協力者氏名：菊池陽子
ローマ字氏名：KIKUCHI Yoko

研究協力者氏名：白石昌也
ローマ字氏名：SHIRAISHI Masaya

研究協力者氏名：左右田直規
ローマ字氏名：SOU DA Naoki

研究協力者氏名：根本敬
ローマ字氏名：NEMOTO Kei

研究協力者氏名：姫本由美子
ローマ字氏名：HIMEMOTO Yumiko

研究協力者氏名：舟田京子
ローマ字氏名：FUNADA Kyoko

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。